

令和7年度に研修を開始した 専攻医の採用実績について

専攻医採用実績数 都道府県別一覧表

令和7年2月28日時点 確定値

都道府県	H30年 (2018)	R1年 (2019)	R2年 (2020)	R3年 (2021)	R4年 (2022)	R5年 (2023)	R6年 (2024)	R7年 (2025)
1 北海道	296	317	305	303	342	296	298	344
2 青森県	61	72	68	72	71	67	79	76
3 岩手県	62	65	71	77	74	80	54	57
4 宮城県	159	142	172	144	181	170	192	181
5 秋田県	60	49	55	55	47	52	48	49
6 山形県	55	66	57	55	54	54	60	39
7 福島県	86	76	87	106	86	79	104	100
8 茨城県	130	142	134	151	138	154	154	143
9 栃木県	120	121	122	130	147	149	124	119
10 群馬県	79	78	84	105	103	102	99	109
11 埼玉県	228	256	343	317	381	366	378	415
12 千葉県	267	332	381	388	395	397	410	424
13 東京都	1,824	1,770	1,783	1,748	1,749	1,832	1,791	1,812
14 神奈川県	497	516	546	607	639	665	652	684
15 新潟県	100	95	123	99	109	90	101	106
16 富山県	54	53	52	51	50	50	45	53
17 石川県	109	122	113	118	131	97	86	116
18 福井県	39	50	57	45	44	53	51	44
19 山梨県	37	57	53	66	58	58	58	55
20 長野県	112	109	124	103	121	111	100	104
21 岐阜県	98	85	111	113	105	92	115	108
22 静岡県	114	150	173	181	171	154	204	187
23 愛知県	450	476	520	552	571	612	585	621
24 三重県	102	94	102	89	91	89	88	102
25 滋賀県	90	89	87	94	113	96	115	115
26 京都府	284	269	260	283	295	272	262	278
27 大阪府	649	652	683	669	684	676	733	724
28 兵庫県	338	381	454	452	478	490	499	526
29 奈良県	103	97	115	104	122	116	126	113
30 和歌山県	72	67	90	67	89	79	83	75
31 鳥取県	45	55	53	45	48	43	50	45
32 島根県	37	44	46	61	28	40	57	57
33 岡山県	215	221	243	221	244	221	207	218
34 広島県	148	141	145	144	155	161	159	173
35 山口県	45	46	59	61	55	58	62	67
36 徳島県	60	65	48	52	41	38	44	50
37 香川県	48	59	37	53	48	40	47	58
38 愛媛県	88	65	85	74	72	57	64	58
39 高知県	50	36	44	60	58	55	49	67
40 福岡県	450	444	424	451	470	434	475	490
41 佐賀県	58	53	53	59	61	50	48	42
42 長崎県	84	111	87	95	102	90	85	76
43 熊本県	104	122	113	111	89	111	101	106
44 大分県	64	61	58	63	80	74	69	81
45 宮崎県	37	52	45	56	54	64	46	50
46 鹿児島県	94	107	105	118	102	92	84	108
47 沖縄県	108	85	112	115	102	99	113	137
計	8,410	8,615	9,082	9,183	9,448	9,325	9,454	9,762

※青いセルは医師少数県、黄色いセルは医師多数県（令和6年度医師確保計画に用いられる医師偏在指標に基づく）

令和7年度に研修を開始した専攻医の採用実績【診療科別】

	R6						R7						R7-R6					
領域	奈良県						奈良県						奈良県					
	プログラム数	定員数	専攻医採用者数	(R6.5.31時点)			プログラム数	定員数	専攻医採用者数	(R7.4.1時点)			プログラム数	定員数	専攻医採用者数	奈良県		
				うち医大採用者数	出身臨床研修病院					うち医大採用者数	出身臨床研修病院					うち医大採用者数	出身臨床研修病院	
					県内	県外					県内	県外					県内	県外
内科	8	69 人	41 人	24 人	35 人	6 人	8	69 人	37 人	22 人	26 人	11 人	0	0 人	-4 人	-2 人	-9 人	5 人
小児科	3	13 人	7 人	7 人	6 人	1 人	3	13 人	5 人	4 人	3 人	2 人	0	0 人	-2 人	-3 人	-3 人	1 人
精神科	5	35 人	9 人	5 人	6 人	3 人	5	34 人	10 人	4 人	5 人	5 人	0	-1 人	1 人	-1 人	-1 人	2 人
外科	3	22 人	5 人	4 人	5 人	0 人	3	22 人	9 人	5 人	6 人	3 人	0	0 人	4 人	1 人	1 人	3 人
整形外科	4	21 人	14 人	10 人	8 人	6 人	4	21 人	8 人	6 人	5 人	3 人	0	0 人	-6 人	-4 人	-3 人	-3 人
産婦人科	2	23 人	11 人	10 人	6 人	5 人	2	23 人	3 人	2 人	1 人	2 人	0	0 人	-8 人	-8 人	-5 人	-3 人
麻酔科	3	15 人	2 人	2 人	1 人	1 人	3	18 人	7 人	5 人	5 人	2 人	0	3 人	5 人	3 人	4 人	1 人
救急科	3	9 人	3 人	1 人	2 人	1 人	3	9 人	2 人	2 人	1 人	1 人	0	0 人	-1 人	1 人	-1 人	0 人
皮膚科	3	8 人	3 人	3 人	2 人	1 人	3	8 人	3 人	2 人	2 人	1 人	0	0 人	0 人	-1 人	0 人	0 人
眼科	1	4 人	6 人	6 人	4 人	2 人	1	4 人	1 人	1 人	1 人	0 人	0	0 人	-5 人	-5 人	-3 人	-2 人
耳鼻咽喉科	1	7 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1	7 人	6 人	6 人	3 人	3 人	0	0 人	6 人	6 人	3 人	3 人
泌尿器科	1	6 人	5 人	5 人	4 人	1 人	1	5 人	3 人	3 人	2 人	1 人	0	-1 人	-2 人	-2 人	-2 人	0 人
脳神経外科	1	10 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1	10 人	3 人	3 人	3 人	0 人	0	0 人	3 人	3 人	3 人	0 人
放射線科	3	13 人	9 人	7 人	5 人	4 人	3	13 人	5 人	4 人	3 人	2 人	0	0 人	-4 人	-3 人	-2 人	-2 人
病理	1	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人	1	3 人	2 人	2 人	1 人	1 人	0	0 人	2 人	2 人	1 人	1 人
臨床検査	2	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0	0 人	0 人	0 人	0 人	0 人
形成外科	2	5 人	3 人	1 人	1 人	2 人	2	8 人	3 人	1 人	1 人	2 人	0	3 人	0 人	0 人	0 人	0 人
リハビリテーション科	1	4 人	1 人	1 人	1 人	0 人	1	4 人	0 人	0 人	0 人	0 人	0	0 人	-1 人	-1 人	-1 人	0 人
総合診療科	6	24 人	7 人	2 人	5 人	2 人	6	24 人	6 人	1 人	4 人	2 人	0	0 人	-1 人	-1 人	-1 人	0 人
合計	53	293 人	126 人	88 人	91 人	35 人	53	297 人	113 人	73 人	72 人	41 人	0	4 人	-13 人	-15 人	-19 人	6 人

臨床研修医採用実績	(R4)	127人	▲1人	(R5)	106人	7人
-----------	------	------	-----	------	------	----

分析

- ・前年度と比較すると、全体の専攻医定員数は4人増加（293人→297人）したが、専攻医採用者数は13人減少（126人→113人）
- ・臨床研修採用実績と専攻医採用者数を比較すると、昨年度は1人少なく（127人→126人）、今年度は7人多い（106人→113人）
- ・出身臨床研修病院をみると、県内出身者は19人減少（91人→72人）し、県外出身者は6人増加（35人→41人）
- ・専攻医採用者のうち県内で臨床研修を修了した者の割合は、前年度72％（91人/126人）に対し、今年度64％（72人/113人）で県内定着率が低下

令和7年度に研修を開始した専攻医の採用実績

医学部入学～臨床研修～専門研修 に至る県内出身者率の推移

R 5 年 度 採 用	<p>臨床研修</p> <p>県内121人 → 90人</p> <p>県外 → 26人</p> <p>計116人 (県内臨床研修病院出身率) 77.6%</p>	<p>▼ 専攻医の出身高校 (県内高校出身率) 34.4% *令和5年4月県調査をもとに計算</p> <p>▼ 専攻医の出身大学 (県内大学出身率) 54.3%</p>
R 6 年 度 採 用	<p>臨床研修</p> <p>県内127人 → 91人</p> <p>県外 → 35人</p> <p>計126人 (県内臨床研修病院出身率) 72.2%</p>	<p>▼ 専攻医の出身高校 (県内高校出身率) 41.3% *令和6年4月県調査をもとに計算</p> <p>▼ 専攻医の出身大学 (県内大学出身率) 55.6%</p>
R 7 年 度 採 用	<p>臨床研修</p> <p>県内106人 → 72人</p> <p>県外 → 41人</p> <p>計113人 (県内臨床研修病院出身率) 63.7%</p>	<p>▼ 専攻医の出身高校 (県内高校出身率) 27.4% *令和7年4月県調査をもとに計算</p> <p>▼ 専攻医の出身大学 (県内大学出身率) 40.7%</p>

分 析	<p>○ 臨床研修から専門研修へ進む際、令和5年度採用専攻医については県内に残る専攻医の割合が77.6%まで上昇したが、令和7年度採用専攻医については63.7%となっており、県内臨床研修病院出身率が年々減少している。 → 県内出身率は軒並み減少しているが、専門研修開始人数が臨床研修開始人数を上回った。専門研修開始人数の内、県外からの流入者が増加したことが要因だと考えられる。県外からの流入者の増加は好ましいことではあるが、専門研修修了後も奈良県に残るよう定着を図る必要がある。</p> <p>○ 各年度に採用された専攻医の出身高校所在地、出身大学所在地の傾向は、令和7年度採用専攻医の県内高校出身率が前年度41.3%から27.4%と減少し、県内大学出身率も前年度55.6%から40.7%と減少した。 → 奈良県内の高校や奈良県立医科大学へ奈良県の専門研修の広報を実施する必要がある。</p>
--------	--